

ニコチン依存症を知っていますか？

③ ニコチン依存症

東北文化学園大学 健康管理センター保健室 2018年 10月発行 Ver. 13



ニコチン依存症は、確実に病気で治療が必要です。専門医のいる禁煙外来を受診するほかに、自分で禁煙するための補助として、薬局で購入可能なニコチンパッチやニコチンガムもあります。大学保健室では、ニコチン依存症のスクリーニングテストを受けることができます。必要に応じて、**お試し用のニコチンパッチも差し上げます**ので、是非相談に来てください。

～ニコチン依存症～

タバコを吸うと、ニコチンが数秒で脳に達し、快感を生じさせる物質（ドーパミン）を放出させます。ドーパミンが放出されると、喫煙者は快感を得ます。同時に、またタバコを吸いたいという欲求の繰り返しで、いつの間にか、本数が増えるという悪循環に陥ります。この状態が、喫煙習慣 = **ニコチン依存症**です。ニコチンは、恐ろしい麻薬よりも依存性が強く、**ニコチン依存症は、治療が必要な病気であるとされています。**

風邪を罹患した時、意志や気合で治せないのと同じように、病気である**ニコチン依存症**を意志の力だけで治すことはかなり難しいのです。

ニコチン依存症の方は、禁煙専門の病院があります。早めの治療をお勧めいたします。

できれば…ニコチン依存症になる前に、禁煙できるといいですね。



禁煙相談希望の方は1号館2階 大学保健室に来てください。